98179

第六五頁

極秘

中支參一第二六六號

武漢攻略戰間ニ於ケル化學戰實施報告送附ノ件

昭和十三年十二月十一日

中支那派遣軍參謀長河邊正三

陸軍次官 山脇正隆殿

題ノ書類別冊ノ通送附ス、

軍事 機密 兵務 陸軍 別冊 書課保管文書 印刷務主 機械課 6月6日 陸軍省 14.6.6 第271號 機密課 陸軍省 14.6.5 第193號 兵務課 陸軍省 13.12.25 陸軍省 14.6.3

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

0486ペ

極秘

昭和十三年十一月三十日

武漢攻略戰ニ於ケル化學戰實施報告

中支那派遣軍司令部

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

目次

第一 化學戰實施ノ一般狀況
第二 化學戰關係部隊ノ部署
第三 化學戰資材ノ配當竝之カ使用概數
第四 特種煙ノ效果竝成果利用ノ狀況
第五 第二軍及第十一軍ニ於ケル化學戰實施ノ狀況
第六 化學戰ニ關スル支那軍ノ觀察
第七 將來ニ關スル意見
一 今次作戰ニ於ケル特種煙ノ效果ト其ノ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一、將來性
二、特種煙放射ノ價値用法並之ガ成果利用
三、特種彈ノ價値用法並之ガ成果利用
四、一般戰力ト瓦斯戰力トノ比較並兩者ノ協調
五、編制裝備
六、教育訓練
七、瓦斯勤務
八、氣象勤務
九、化學實驗部ニ關スル事項

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

十、補給並輸送

十一、野戰瓦斯廠ニ關スル事項

十二、資材改善ニ關スル事項

十三、防諜ニ關スル事項

十四、武漢攻略後ニ於ケル化學戰事項

附表第一　化學戰部隊ノ部署

附表第二　武漢攻略戰間化學戰資材（兵器）配當及使用概數表

附錄第一　武漢攻略戰間ニ於ケル化學戰實施報告（丙集團）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

附録第二

漢口攻略戰ニ於ケル他學戰實施報告（呂集團）

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第一 化學戰實施ノ一般狀況

軍ハ武漢攻略戰間ニ於テ特種煙(特種發煙筒及特種發煙彈)ノ使用ヲ許可セラルルヤ之カ使用ハ作戰ノ進捗狀況ニ適應セシメ勉メテ輕易ニ隨所且局部的ニ使用スルヲ本則トシ狀況ニ依リテハ相當規模ニ集中使用スルモノトシ以テ迅速ナル戰局ノ發展ヲ企圖セリ而シテ八月初旬以後下旬迄ノ間ニ於テ主要ナル師團ニ對シ應急的ニ化學戰ノ教育ヲ行ヒ八月中旬以後教育ノ進捗ニ應シ逐次之カ使用ヲ開始シタルニ適當ニ使用セラレタル箇所ニ於テハ克ク堅固ナ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ル陣地ニ據リ頑強ニ抵抗セル敵ヲ制壓シ輕微ナル我損害ヲ以テ陣地奪取ヲ可能ナラシメ作戰ノ進捗ニ資スル所尠カラズ、然レドモ一部ニ於テハ適切ナラザル使用ト成果利用ニ缺クル點アリテ效果ヲ擧ケ得ザリシモノアリシハ應急的教育ノ欠陷ト見ルベク誠ニ遺憾トスル所ナリ

右ノ如ク本次作戰ニ於テハ一般戰力ト化學戰力トヲ綜合發揮シ以テ所期ノ目的ヲ達成セリト雖將來ニ於テ優良裝備ノ敵ニ對シ必勝ヲ期スル爲猶幾多改善ヲ行ヒ進歩向上ヲ期スベキモノアリ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第二、化學戰關係部隊ノ部署

附表第一ノ如シ

第三、化學戰資材ノ配當並使用ノ概數

附表第二ノ如シ

第四、特種煙ノ效果並ニ成果利用ノ狀況

防護裝備並ニ防護教育劣等ナル支那軍ニ對シテハ特種煙ハ極メテ有効ニシテ其少量ヲ使用スルモ敵ヲ戰鬪不能ナラシメ其ノ射擊ヲ封シ豫期以上ノ效果ヲ

0493

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

收メタルコト尠カラズ、特ニ精神的效果ハ顯著ナルモノアリテ我發煙ヲ認メテ直ニ陣地ヲ放棄セル例アリ

作戰初期ニ於テハ使用熟成果ノ直接利用ハ十分ト認メ難キモノアリシモ教育指導ト體驗ヲ重ヌルニ伴ヒ漸次良好トナレリ、

實施總回數ハ三七五回ヲ下ラズ其約八割ハ成功シ約二割ハ成果十分ナラザルモノトス、

第五、第二軍及第十一軍ニ於ケル化學戰實施ノ狀況、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

附録第一第二ノ如シ、

第六、化學戰ニ關スル支那軍ノ觀察

支那軍ノ化學戰ハ未ダ研究ノ時期ニシテ整備並實行ノ時期ハ尚將來ニアリ　特ニ瓦斯使用ニ關シテハ更ニ年月ヲ要スベキモ軍民共ニ其重要性ヲ痛感シ其認識ノ徹底ニ腐心シアル事實濃厚ナルヲ以テ今後ノ指導宜シキヲ得バ本次事變ニ於ケル刺戟ト相俟チテ意外ニ早ク劃期的進歩ヲナスベキハ豫察セラルル所ナリ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

一、防護

防毒面ハ濾煙能力概ネ五〇―八七％程度ノ各種型式ヲ有シ我カ八七式防毒面ノ能力ヨリ劣等ニシテ携行比率モ一定セズ直系軍ニ於テハ相等多數ノ兵員携行シアルガ如キモ雜軍ニ至リテハ殆ド之ヲ有セザルカ如シ而シテ昭和七年上海事變時ノ煙草空罐ヲ利用セル防毒面ニ比較スル時ハ長足ノ進歩ヲ示シアリ　且本事變中ニ於テモ外國品購入等ニヨリ相等數ヲ整備シ又武漢攻略戰

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

間ニ於テモ防毒面ノ追送間ニ合ハザルヲ以テ簡易口覆・眼鏡ヲ各自ニ交付セルガ如ク多大ノ關心ヲ有シアリ、特ニ本作戰間ニ於テ敵ハ特種煙ニ依リ多大ノ損傷ヲ受ケアルヲ以テ防毒面ノ整備ヲ急グコト明ナリ、

然レドモ目下支那自体ノ製造能力ハ殆ドナキヲ以テ多クハ外國製品ニ依ルモノト判斷セラル、從ッテ之カ整備ノ能否ハ一ニ各國ノ支那支援ノ程度ニ依ルヘキモ多數整備ニハ相當ノ日子ヲ要スヘク且防護教育ニ至リテハ早急ニ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

完璧ヲ期シ難キヲ以テ此等整備ニハ今後若干年ヲ要スルモノト思考セラル

防毒面以外ノ防護具ニ至リテハ其整備殆ド見ルベキモノナシ、

二、瓦斯使用

支那軍ハ本事變開始以後極メテ局部的ニ一時瓦斯ヲ使用セルコトアリ、且押收化學戰資材ヨリ判斷スルニ外國製品ヲ購入シ研究ノ緒ニ就キタル程度ニシテ發煙筒毒煙筒、催涙彈（投下彈共）等ハ一部製造

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

セルガ如キモ目下ハ失レ等工場ハ殆ド我軍ノ手ニ歸シ使用ニ堪ヘルモノナキ狀態ナルヲ以テ之ヲ製造シ戰場ニ使用スル爲ニハ今後數年ヲ要スベシ、但外國製品ヲ購入シ使用スルコトアルベキモ外國ニ於テ毒瓦斯ヲ供給スルノ程度ハ之レ亦一ニ支那ヲ支援スルノ程度ニ依ルベシ、而シテ一時瓦斯ハ局部的ニハ尚早期ニ使用スルコトアルベキモ持久瓦斯ハ其取扱ノ訓練ヲ要スルヲ以テ砲彈等ニ依ル局部的ノモノノ外ハ若干年ヲ要スベシ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第七、將來ニ關スル意見

一、今次作戰間ニ於ケル特種煙ノ效果ト其將來性

今次作戰間ニ於テハ戰鬪ノ性質、氣象及地形ノ關係上特種煙ノ使用ハ相當困難ナリシモ敵ハ防護裝備並防護教育極メテ劣等ナリシヲ以テ特種煙ノ效力大ニシテ其少量ヲ使用スルモ克ク當面ノ敵ヲ制壓シ輕少ナル我損害ヲ以テ敵陣地ヲ奪取シ或ハ將ニ交綏セントセル戰況ヲ打開シ又ハ逆襲セル敵ヲ擊破シテ豫期以上ノ效果ヲ收メ戰鬪ノ進捗ヲシテ有利ナラシメタリ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

而シテ特種煙ヲ使用セル部隊ニシテ之ガ効果ニ絶大ノ信頼ヲ置キアル部隊ト之ニ反シ其效果ニ疑念ヲ有シアル部隊トアリテ可否両極端ニ走リアルガ如シ、

指揮官ハ宜敷特種煙ノ特性ヲ適正ニ考察シ巧ニ之ヲ活用スルノ着意ヲ必要トス、

而シテ統計的ニ調査セル成否ノ状況既述ノ如シ、

将來ニ於テモ支那軍ニ對シテハ之ガ效力アルベキハ首肯シ得ル所ナリ、

将來戰ニ於テ編制裝備優良ナル敵ニ對シテハ効力ノ劣ルハ已ムヲ得ザル所ニシテ特ニ今次事變ニ於テ實施

0501

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

セル放射様式及資材等ハ既ニ豫想敵國ニ於テ承知シアルベキヲ以テ將來戰ニ於テハ極メテ近接シテ行フ局部使用ノ外斬新ナル用法ニ依ニザレハ效果ヲ期待シ難カルベシ然レドモ優良ノ敵ニ對シテモ發射様式(發射特種筒、特種彈)ニ依ルトキハ其裝面前ニ急襲シ得ベク相當ノ效果ヲ期待シ得ルモノト推斷セラル、而シテ本丸斯ハ致死ナラサル點ニ於テ一大缺陷ヲ有スルヲ以テ之ガ成果利用ニ關シ十分ナル訓練ヲ要スルト共ニ別ニ少量ヲ以テ即効致死的效果アル凡斯資材等ヲ研究改善スルコトハ國軍トシテ絶對ニ必要ナリ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

二、特種煙放射ノ價値用法並ニ成果利用、

一、價値

今次ニ於ケル特種煙放射ノ結果ニ依ルニ支那軍ニ對シテハ使用規模ノ大小ニ關セズ有效ニシテ今後ニ於テモ防護資材ノ改良及教育ノ普及ハ急激ニ行ヒ難キヲ以テ有效ナルベキハ疑ナキ處ナリ、然レドモ對「ソ」戰ニ於テ優良ナル裝備ノモノニ對シテハ特種煙放射ハ其效果ハ既述ノ如ク大ナル期待シカケ得ザルベシ、

特種煙放射ハ急襲效果ヲ求ムルコト不能ナルト

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

氣象ニ左右セラレ計畫的使用スルヿト困難ニシテ
發煙初期發煙點ニ猛射ヲ受ケ又ハ效力發煙
點ヲ離ルルニ從ヒ急速ニ減少スル等ノ不利アルヲ
以テ之等ノ不利ヲ消滅シ效果ヲ强大スル爲ニハ
放射式ドスルヨリモ發射式トナスコト絶對ニ必要ナリ、

二 用法

イ 運動戰ニ於ケル使用規模

要點奪取ノ爲ノ局部的使用ヲ主トシ狀況ニ
依リ小規模某正面(概ネ大隊正面以内)ノ使用
ヲ行ヒ極メテ稀ニ大規模使用ヲ行フ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

特種煙ハ其効力ノ持續短少ナル關係上突擊ト密接ニ連繫スヘキモノニシテ突擊ニ最モ妨害ヲナス要點ノ奪取ニ使用スルヲ本則トス、特ニ山地ニ於テ然リ、然レトモ敵陣地ノ狀態若ハ地形ニ依リテハ其要點ノ判定シ難キモノアルヲ以テ此ノ如キ場合ニ至リテハ我重點ノ攻擊ヲ容易ナラシムル如ク某正面ヲ制壓スルコトアリ、

此際ニ於テモ各種火器ト突擊トヲ統制スヘキ戰術單位タル大隊長ニ於テ統制指導スルヲ至當トス、其正面ハ大隊正面以内ヲ通常トス、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

但陣地戰的傾向ヲ帶ブルニ從ヒ地形、氣象良好ナル場合柿ニ聯隊以上ニ於テ大規模ニ使用スルヲ可トスルコトアリ、

2、發煙實施部隊

本次作戰間ニ於テハ歩兵大隊ニ於テ臨時編成セル發煙小隊若クハ野戰瓦斯隊ニ依リ特種煙ヲ使用スルヲ本則トセリ、

第一線突擊部隊ニ發煙ヲ併セ實施セシムルハ實施困難ナルノミナラズ發煙點ハ必ズシモ正對セル正面ノミナラズ風向ニ依リテハ他ノ位置ニテ行フヲ要スルコトアリ、

或ハ正面ノ敵ヲ制壓スルノミ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ニ非ズシテ側方掩護ニ發煙ヲ實施スルコトアル等ヨリ別ニ發煙部隊ヲ設ケ其結果良好ナリ、

今後ニ於テモ大隊ニ化兵小隊ノ固有ノ編制ヲ有セシメ發煙ノ基幹部隊タラシムルヲ要シ之ニ他ノ化學戰任務（一般發煙、瓦斯防護等）ヲ課スルヲ適當トス、

野戰瓦斯隊ハ大隊化兵小隊ヲ增强スル爲重要ナル方面ニ增加スルモノトシテ必要ナリ

但第一線部隊ニ於テモ局部的突擊實施ノ爲自ラ發煙スルコトアリ、

發煙小隊若ハ瓦斯隊特種發煙ノ實施ニ方リテハ必ズ

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

若干ノ豫備班ヲ必要トシ臨時所要才面ニ補足發煙ヲ實施セシムルコトハ發煙部署上絶對ニ必要ナリ、

3、放射準備時間、

放射準備時間ハ放射ノ規模、使用筒數、敵ノ活動狀況地形、準備ニ使用シ得ル人員、放射資材ノ位置等各種ノ狀況ニ依リ差アルモ第一線歩兵大隊明拂曉攻擊ヲ行フ場合小規模放射ヲ行フ爲ニハ一晩ノ準備時間ニテ可ナリ、

晝間局部的使用ニテ特ニ急速ヲ要スル場合ニ於テ發煙小隊若ハ凡斯隊ノ携行資材ノミニ依ル場合ニ

在リテハ狀況有利ナルトキ約二時間内外ノ準備ニテ
實施セル場合アリ、
大規模放射ニ於テ高濃度放射ヲ行フ場合ニ於テハ
準備ニ約二日ヲ見積ルヲ要ス、
八、發煙位置ヲ敵ニ近接シ得ル限度
現樣式ニ依ル放射ニ於テ發煙位置ヲ敵ニ近接シ得ル
限度ハ一般狀況地形ニ依リ差アルモ夜間準備ニ於テ
通常二ー三百米トス、　但地形ニ依リテハ局部的ニハ
五十米内外ニ進セル場合アリ、
晝間準備ニ在リテハ四ー五百米ヲ通常トス、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

然レドモ戰鬪實施ニ際シ交綏ニ陷ラントスル際之カ打開ノ爲使用スル場合ニ於テハ當時ニ於ケル最前線トナルヲ以テ百米内外ノ近距離トナルコト多シ

三、成果利用

本次作戰間ニ於ケル特種煙ノ成果利用ニ關シテハ同ジ重ヌルニ從ヒ逐次良好トナルモ其結果ニ鑑ミ成果利用上特ニ着意スベキ事項左ノ如シ、

イ、旺盛ナル攻擊精神ヲ以テ特種煙ニ膚接スル前進

特種煙使用ノ場合ニ於テハ其効力ニ信賴シ機ヲ逸スルコトナク勉メテ之ニ膚接シテ前進スルコト緊要ナリ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

特ニ素質不良ナル支那軍等ニ對セル場合ニ於テハ其效力大ナルヲ信頼シ遲疑逡巡スルコトナク旺盛ナル攻擊精神ヲ以テ面ヲ被リテ要スレバ煙ト共ニ突入スルノ意氣ヲ必要トス、假令其効力ニ於テ十分ナラザル處アルモ敵ノ周章狼狽シアル時期ニ乘スレハ能ク效果ヲ收メ得ルモノトス、

2、火力等ノ準備及運用、

特種煙成果利用ニ方リテハ必ズ火力ノ準備及之ガ適切ナル運用ヲ必要トス、特ニ特種煙ノ使用規模小ナルニ從ヒ然リトス、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

即チ正面ノ敵ハ能ク特種煙ヲ以テ制壓スルモ敵ノ側方ヨリスル射撃ヲ他ノ火力ヲ以テ制壓セザレバ到底突撃ノ成功ヲ期シ難ク、狀況ニ依リテハ無毒煙ヲ準備シ其側面ヲ掩蔽スルヲ要スルコトアリ、又特種煙ニ依リ效果ヲ收メ難キ高地頂上等ニ火力又ハ特種發煙彈ヲ準備シ若ハ特種煙ニ依リ驅逐セラレ暴露シ或ハ敗退スル敵ニ對シ火力ヲ指向スル等ハ其成果ヲ收ムル上ニ特ニ注意スベキ事項ナリ、

3 嶮難ナル地形ニ於ケル成果利用

嶮難ナル地形ニ於テ敵ト相當離隔セル線ニ於テ

特種煙ヲ使用セル場合ニ於テハ一挙ニ之ニ肩接シテ突撃スルコト困難ナル場合アルヲ以テ此ノ如キ場合ニ於テハ成ル可ク發煙線ヲ推進セル位置ニ選定スルト共ニ要スレバ中間的ニ便ニ敵ニ近迫セル位置ニ於テ補備的發煙ヲ行フ如ク豫メ準備スルコト必要ナリ、

4、特種煙ノ効果ニ關スル認識付與

特種煙ノ効果利用ニ方リテハ須ラク其效力ニ對スル認識的確ナラザルベカラズ、

即チ敵ノ防護裝備及其訓練ノ狀態ニ鑑ミ敵ニ及ス特種煙ノ效力ニ考察ニ自信ヲ以テ戰鬪ノ

實施シ得ザルベカラズ

特種煙ヲ使用セル場合ニ於テモ絶對ニ敵ヲ制壓スルコト能ハザルコトアリテ若干ノ敵殘存セル場合アルヲ以テ旺盛ナル攻擊精神ヲ以テ適切ナル火力運用ニ依リ遲疑逡巡スルコトナク攻擊ヲ遂行セザルベカラズ

三、特種彈ノ價値用法並ニ之カ成果利用

一、今次作戰ニ於テハ各方面共地形並ニ道路嶮難不良ナリシ爲野砲級以上ノ火砲ノ追隨極メテ困難ナリシヲ以テ特種發煙彈使用ノ爲之等火砲及迫擊砲ヲ集結使用スルコト不能ナリシト迫擊特種彈ニ不良彈等アリ

シヲ以テ特種發煙彈ヲ以テスル急襲的集中使用ヲ行フヲ得ス特種彈ノ眞價ヲ把握スルニ至ラザリシモ一部實施ノ跡ヲ鑑ルニ特種發煙彈ノ價値ハ大ナルモノアリ

即チ敵ヲ直接制壓シテ其戰鬪ヲ不能ナラシメ或ハ一部發煙彈ニ依リ敵ノ撤退若ハ暴露陣地ニ移レルニ乘シ榴彈ニ依リ之ニ撲滅的損害ヲ與ヘタル等適時適所ニ急襲的ニ之ヲ使用シテ成果ヲ收メタリ、

特ニ氣象地形ニ依リ制限ヲ受クルコト尠ク敵ヲ裝面前ニ急襲シ得ル本方式ハ將來特種煙使用ノ主要部分ヲ占ムルモノト謂フベシ、

二、特種發煙彈使用ニ方リテハ要點ニ對シ集中的ニ急襲射擊ヲ必要トスルハ從來ノ研究ノ通リニシテ今次作戰間ニ於テモ極メテ少數ノ彈丸ニ依リ成功セル例ナキニ非ザルモ成功セルモノノ大部ハ相等數ノ彈丸ヲ使用セリ

本作戰間ノ迫擊隊其他一般火砲ヲ以テスル特種發煙彈ノ用法ハ他ノ關係ニ依リ已ムヲ得ザリシト雖乍斯使用上ヨリ見レバ分散ニ過ギ適當ナル使用法ニ非ズ

特種發煙彈ノ效果ノ見ルベキモノ比較的少ナカリシハ明ニ之ヲ證明スルモノナリ、

三、今次作戰間ニ於ケル特種發煙彈ノ成果利用ハ極少

數彈ヲ使用セル場合ノ戰例ナルモ此ノ如キ場合ニ於ケル成果ノ利用ハ特種彈ニ依ル制壓ノ時期ヲ利用スル突擊又ハ前進若ハ特種彈ノ效力ニ依リ暴露セル目標ヲ他ノ火器ヲ以テ撲滅スル等ノ方法ニ依ルモノトス

四 一般戰力ト瓦斯戰力トノ比較並両者ノ協調

今次作戰間ニ於ケル瓦斯戰力ハ一部ノ補助戰力ナルコトハ今次使用ヵ局部的使用ヲ本旨トセル關係上當然ナリ

然レドモ瓦斯戰力使用時期ヲ見ルニ一般戰力ヲ以テシテハ奪取シ得ザリシ頑强ナル敵重要據點ニ使用シ容易且僅少ニシテ奪取シ得シメ以テ全般ノ戰鬪進捗ヲ

容易ナラシメタルモノ多ク局部的ニ重要戦力タルコト
ヲ失ハズ
而シテ化學戦力ハ必ズ他ノ戦力トノ協調ヲ要スルハ
明ニシテ此ノ協調ノ適否即チ成否ノ岐ル所ナルコトハ
戦例ノ示ス所ナリ

五、編制裝備

一、歩兵大隊ニハ化兵小隊(發煙小隊)ヲ編成上必要トス

二、迫撃

イ、歩兵聯隊ニハ小迫撃中隊ヲ編制上有セシメ現制
迫撃砲ヨリモ一層輕量ナル迫撃砲ヲ以テ成ルベク

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

2.

駄馬編成トシ榴弾射撃専用トス、

迫撃大隊、

現迫撃大隊ハ瓦斯使用ヲ主トシ併セテ榴弾射撃ヲ行ハシム、

迫撃隊ハ大隊編制ノモノノ外將來瓦斯ノ大規模使用ヲ考慮スル時ハ聯隊編制ノモノニ關シテモ研究ヲ進ムル必要アリ、

大隊ニハ連絡將校一ヲ配置スルヲ要ス、

中隊ニ觀測掛將校一ヲ要ス、

陣地變換ノタメノ事前準備 敵狀偵察、弾藥整備

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

等ノ爲中隊ニ觀測掛將校一ヲ是非必要トス、

小隊長段列長ニ乘馬ヲ必要トス、

行軍長徑大ナル爲馬匹部隊ヲ指揮シ戰機ニ

投合スル戰鬪遂行ノ爲乘馬ヲ必要トス、

中隊ニ乘馬傳令ヲ必要トス、

自衛力增加ノ必要、

迫擊及瓦斯隊共更ニ自衛力ノ增加ヲ要ス、

迫擊隊土工及木工器具ハ器杖定數トシテ加フルヲ

要ス、瓦斯隊ニ於テモ土工具ヲ要スルコト同樣ナリ、

三、野戰瓦斯隊、

野戰瓦斯小隊ハ不要トス、　　野戰瓦斯中隊(乙)ハ輓馱兼用トスルヲ要ス、

四、軍以上ノ高等司令部ニハ化學戰ノ主任參謀ヲ必要トス、而シテ本要員ハ化學戰ノ實施少キ場合ニ於テハ他ノ兼務トスルモ支障ナシ、

將來ニ於テ化學戰ニ關スル教育向上シ參謀及其他關係將校ノ知識向上セラレタル場合ニ於テハ之ヲ廢止スルモ支障ナシ、

五、師團以下ニハ當分現在ノ如ク瓦斯掛將校ヲ置クヲ要ス、但シ將來將校以下ノ教育極メテ向上セラレタ

ル場合ニ於テハ之ヲ廢止スルモ支障ナシ、

又師團司令部ニハ氣象勤務員トシテ若干ノ人員及輕易ナル受信機ヲ必要トス、

而シテ之等ハ師團及斯掛將校ノ指揮ヲ受ケシムルモノトス、

六、化學戰指導要員ノ要否

化學戰指導要員ハ國軍現下ノ狀況ニ於テハ一般ニ化學戰教育低キヲ以テ所要ニ應ジ教育指導ノ爲必要ト、スルコトアルモ將來ニ於テハ一般ノ教育ヲ一層向上シ新化學兵器使用ノ場合ノ外特ニ之等ヲ要セザル如クスルコト必要ナリ、

0522

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

六、教育訓練

一、平時ノ教育ハ防護ノミナラズ使用及成果利用ニ關シ十分ニ實施スルヲ必要トス、

戰地ニ於ケル應急教育ハ勿論必要ナルモ徹底不充分ニシテ短期間ニ十分ナル成果ヲ擧ケ難キヲ以テ平時教育ニ於テ十分教育シ置クコト必要ナリ、

今次作戰ニ於テモ平素ノ教育徹底シアラバ尚一層大ナル戰果ヲ得タルモノト思考セラルル點アリ

國軍ニ於テハ防護教育ニ就テノミ教育シアリシモ今後用法特ニ成果利用ニ就テハ十分ナル教育ヲ施

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

要トス

二、軍隊指揮官ニ化學戰教育ヲ行フヲ要ス、

各級指揮官ハ各種戰力ヲ綜合シテ之カ適切ナル運用ニ依リ戰鬪ヲ指導スベキモノニシテ化學戰ノ實施ニ關シテモ十分ナル理解ヲ必要トス、

今次作戰間ニ於テモ極メテ適切ニ特種煙ヲ利用シ遺憾ナリ其利點ヲ戰鬪ニ利用セシモノト然ラザルモノトアリ、延テハ特種煙ニ絶對ノ信賴ヲ置キ必勝ノ信念化セルモノト全ク其効力ニ疑念ヲ有スルモノト極端ニ相反スル思想トナレリ

而シテ之等ハ諸種ノ理由アルベシト雖モ化學戰ニ對スル理解ト之カ用法ノ適否ニ關スルモノナリ、故ニ將來各隊長ニ對スル教育ニハ一段ノ力ヲ用ヒ適時適切ナル便用ヲ行ヒ得ル如ク教育指導ヲ必要トス、

三、實物ニ依ル教育ノ必要、

化學戰教育ハ實物ニ依ルコト特ニ緊要ナリ
即チ眞ニ其效力ヲ知得セザレバ自信ヲ以テ使用シ難シ
平時ニ於ケル國軍ノ教育ヲ速ニ改善スルノ要アリ、
迫擊隊ノ教育ハ尚一層向上ヲ要ス、
迫擊小隊長以下ハ既教育者殆トナキ狀況ニテ初
期ノ戰鬪ニ於テ戰鬪實行ニ甚シキ支障ヲ生ゼル狀
況ナリ
平時常設部隊ヲ速ニ整備シ要員ノ教育訓練ヲ
十分ナラシムルコト必要ナリ、
又現在ノ如キ狀況ニ在リテハ動員間ノ教育ヲ是

非必要トスベ、

教育課目中馬事及陣中勤務ニ就テハ相當力

ヲ用フルヲ要ス、

七、瓦斯勤務、

一、瓦斯掛將校ハ其本務遂行ニ遺憾ナカラシムルヲ要ス、

戰場ニ於ケル瓦斯掛將校ハ化學戰攻防ノ指導、

資材ノ整備、教育訓練其他日常ニ於ケル化學戰

勤務ニ從事スベキモノニシテ眞ニ部隊ヲシテ化學戰ニ

關シ自信ヲ有セシムル爲ニハ目下ノ國軍トシテハ之ガ

活用ヲ要スルコト多々アリ、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

然ルニ往々之ヲ他ノ任務ニ使用シ其本然ノ任務遂行極メテ不良ナルニ拘ラズ敢テ之ヲ放置シ置クガ如キハ適當ナラズ、本務ニ十分活動セシメ其餘暇アラバ之ヲ他ニ使用スベキモノトス、

八、氣象勤務

一、師團司令部ニハ氣象報ヲ受信ノ爲簡單ナル受信器材及人員ヲ要ス、

化學戰實施ノ爲ニハ氏氣豫報ヲ受クルコト必要ナリ、而シテ軍ノ野戰氣象隊ノ發スル豫報ヲ速ニ受信スル爲師團司令部ニハ簡單ナル器材及人員

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

ヲ配置スルヲ必要トス、

二、各聯隊以下ニ於テ行フ氣象觀測

聯隊以下ニ於テ器械ヲ以テスル氣象觀測ハ本次作戰間行ヒタルコト殆ドナク多クハ其當時ノ体感或ハ地形ノ狀況自然現象等ニ依レリ、平時ノ氣象教育ニ此ノ點ニ特ニ重點ヲ置キ教育スルヲ要ス、

九、化學實驗部ニ關スル事項

一、作戰ニ必要ナル化學戰資料ノ提供

化學實驗部ハ成ルベク會戰前彼我ノ防護裝備及使用瓦斯ノ之等ニ對スル效力等ヲ調査シ使用及

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

防護ニ對スル準據ヲ提供スルヲ必要トス、

本次作戰間ニ於テモ實目標ニ對スル試驗ヲ行ヒ特種煙使用ノ準據ヲ與ヘタリ、

二、會戰間ニ於ケル資料ノ蒐集、

會戰間ニ於テハ化學戰資料ハ一般部隊ヲ以テシテハ蒐集困難ナルヲ以テ實驗部自体ニ依リ最前線附近ニ斥候ヲ派遣シ之カ蒐集ニ努ムルヲ最モ必要トシ編成上ニ於テモ之等ヲ考慮スルコト緊要ナリ、

十、補給並輸送

一、師團以下ノ輸送機關、

今次作戰ニ於テ最モ困難ヲ感シタルハ師團以下特ニ各部隊ニ於ケル資材ノ携行ナリ。即チ所望ノ時期地點ニ手輕ク使用スルタメニハ所要數ヲ第一線自ラ携行スルヲ要ス。之ガ爲速ニ大隊ニ化兵小隊ヲ編制シ十五輛内外ノ輜重車輛ヲ配當スルヲ要ス

今次作戰ニ於テハ已ムヲ得ス牛（水牛）ヲ徵發シ之ニ充用セルモノ或ハ小行李ノ物品ト積替携行セルモノ多數部隊アリ

二、野戰瓦斯廠ニ輸送用自動貨車ヲ必要トス

野戰瓦斯廠ニハ自動貨車少クモ十輛（別ニ乘用車少

クモ一〇ヲ配當シ資材ノ輸送ニ任ゼシムルヲ要ス、

但大量ノ出シ入レヲ行フ際ニ於テハ自動車隊等ヲ別ニ協力セシムルコト勿論ナリ

十一、野戰瓦斯廠ニ關スル事項

一、野戰瓦斯廠要員ニハ既教育者ヲ充ツルコト必要ニシテ已ムヲ得ザルモ基幹タルベキ人員ニハ其教育ヲ受ケタルモノヲ充當スルヲ要ス、

本次編成ノモノハ殆ド全部未教育者ニシテ業務遂行ニ困難ヲナセリ、

二、野戰瓦斯廠ニハ勤務隊要員ヲ必要トス、

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

多數ノ資材運搬等ノ為人員ヲ要スル場合臨時輸卒隊等臨時配屬受ケ難キコトアルヲ以テ少クモ一〇〇名程度ノ勤務隊ヲ必要ト入、

十二、資材改善ニ關スル事項

迫撃砲具

一、不發及不規彈等ノ發生多キヲ以テ速ニ之カ改善ヲ要ス、

二、彈藥箱收容彈數、

一箱ニ收容スル彈數ハ四發トナシ搬送ニ便ナラシム、

三、緩衝機頭部（上面）ノ螺子ノ機能不良トナリ緩衝

機能不良トナルモノアリ、

四、左脚ニ在ル傾斜修正螺磨滅シ緊定セザルニ至レルモノアリ、

五、高低轉把及方向轉輪ノ操作ヲ容易ナラシムル如ク改善ノ要アリ、

六、補助工具ノ必要

薬筒裝脱用ノ補助工具及彈薬素箱ヲ開ク爲ノ釘拔類ヲ必要トス、

特種發煙筒、

一、特種發煙筒小型トナシ發射式トシ現特種發煙筒

0533

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

八、廢止スルヲ要ス

理由

1、風ニ依リ使用ヲ制限セラルルコト特ニ大ナリ、

2、急襲ニ適セズ

3、放射途中ニ於ケル瓦斯量ノ擴散大ニシテ效力少シ

4、放射照明曉ニシテ集中火ヲ受ク

5、重量大ニシテ長距離ノ運搬ニ適セズ

二、特種發煙筒收容箱ヲ開クニ方リ容易迅速ニ實施シ得ル如クスルヲ要シ且之ガ爲ノ屬品（轉螺器等）ヲ必要トス

三、駄馬兼用鞍ノ必要